

せんぶかん  
泉布観  
(大阪市北区)

みゆ〜  
ザ・見遊じあむ

65

淀川縁に建つ明治の建築物



ました。完成した翌年に明治天皇が訪れ、貨幣を意味する「泉布」と、館を意味する「泉布観」と名づけました。明治時代にかけてこの建物は、皇族や財界人、外国の要人などを数多く迎えました。



タイル仕様の暖炉に化粧鏡も

「文明開化」を象徴するおしゃれな洋風建築

大阪府内に現存する最古の洋風建築物です。明治初期の様式をそのまま残し、「文明開化」や「鹿鳴館」時代の雰囲気を感じさせます。1871年(明治4年)に造幣寮(現在の造幣局)の応接所として、アイランドの建築家・トーマス・ウォートルスが設計し

ました。内装は現在も、古典的な照明具、暖炉、化粧鏡などが備えられ、シャンデリアの光源は電灯に切り替えられています。器具はガスランプ時代のままです。1917年(大正6年)に宮内庁から大阪市に移管され、1956年(昭和31年)に国の重要文化財

に指定されました。建物の内部は毎年一度、3月の春分の日前後に一般公開されます。ぜひお見逃しなく。

ミュージアムメモ

▶所在地/大阪市北区天満橋1丁目▶交通/JR東西線「大阪天満宮」駅下車徒歩10分▶開館/毎年3月下旬▶入場料/無料

「ハーモニー〜心をつなぐ歌」



女子刑務所で生まれた合唱団がドラマをつくる

自由なのが気になります。韓国ではそうした実態なのでしようか。それは横に置いて、クリスマスコンサートでの特別出演を許可されたクライマックスは泣けてきます。ハンカチの準備を。

韓国映画です。「韓国で300万人が号泣した、実話から生まれた感動の物語」というのがこの映画のキャッチコピーです。世代も境遇も異なる女性たちが集まった女子刑務所を舞台に、合唱団を結成して歌の力で奇跡を起こしていく受刑者たちの姿を描きます。個々に問題を抱えたヒロインたちが合唱を通して自分と向き合い、他者を受け入れていく過程を、「ダニーボーイ」などコーラスが奏でるスタンダードナンバーの数々で描きます。舞台は清州女子刑務所。この刑務所では所内で在収監者が出産した場合、18か月の期間はずっと一緒に暮らし、養育することが許されています。おなかの子を夫の暴力か

ら守るために殺人を犯した罪で服役中のジョンへは、収監後に男子を出産します。ある日、慰問にやって来た合唱団の歌声に感銘を受けます。自分たちでも合唱団を結成しようと思いついたジョンへは、半年間で成果を上げることが条件に所長から結成の許可を得て、早速メンバー集めを開始します。死刑囚のムノクは音楽学校の先生で指揮者でした。ムノクを説得し、さまざまな心の傷を抱える服役囚をつぎつぎと合唱団に引き込んでいくジョンへ。幼い息子との別離を余儀なくされる主人公を演じるのは、映画「シュリ」のキム・ユンジン。女子刑務所の房内がやけに清潔でカラフルなと、刑務所内での受刑者の生活が結構自由なのが気になります。韓国ではそうした実態なのでしようか。それは横に置いて、クリスマスコンサートでの特別出演を許可されたクライマックスは泣けてきます。ハンカチの準備を。

このシネマ ガレージ

大阪の戦跡を歩く

第64歩



大丸百貨店 (大阪市中央区)

心齋橋にある大丸百貨店の5階には戦前、軍の機関である情報局と、大政翼賛会がありました。「欲しがりません勝つまでは」のスローガンのもと、百貨店は包装紙を節約するために「お買い物には風呂敷持参で」とお客によ

びかけていました。戦費調達のために貯蓄債券売り場も登場し、百貨店の社員はボーナスの2割を強制的に公債と交換させられたそうです。1945年3月13日の大阪大空襲で、この大丸百貨店の周辺も焼け野原になりました。

撰津河内和泉三國誌 おおさか

行基と狭山池

民衆を救済した社会事業のリーダー

65 (大阪狭山市)

狭山池は日本最古のダム式ため池です。7世紀前半に築造され、「古事記」や「日本書紀」に「枕草子」などの古典にもその名が登場しています。この池は、古代から近代まで幾度となく改修されましたが、最初に大規模な改修工事を指揮したのが奈良時代の僧、行基(668年〜749年)です。大阪で生まれた行基は15歳で出家し、法相宗飛鳥寺の高僧・道昭のもとで修行し、38歳の時から布教活動を始めました。土木技術も習得した行基は、彼を慕い集まった弟子や信徒とともに、飢餓で苦しんでいる人々を救うために、ため池や農耕かんがい施設の造成、架



現在も豊潤な水をたたえる狭山池

橋などの社会事業でも活躍しました。当時、狭山池の周辺は、地理的にも石川や大和川から外れていたために水量が乏しく、農民は水不足に苦しめられていました。行基はこの地で改修工事を手がけ、狭山池一帯の農耕地を潤して民衆に感謝されました。社会事業のリーダーとしてカリスマ性を持ち、多くの信徒集団をもつ行基は、律令国家から警戒され、時には弾圧を受けることもありました。しかし国家の側も、奈良の大仏建造など、大量の人員と費用を必要とする国家事業を進めるためには、行基の力に頼らざるを得ませんでした。行基が改修した「ため池」は狭山池のほか、大阪では「久米田池」(岸和田市)、「鶴田池」(堺市)などが知られています。

いまも心に響く 名詩・名歌・名語録

岡山県玉島教会の牧師・河野進(1904~1990)の詩。マザー・テレサの活動の支援として、「一日三度の食事からおにぎり一個分だけ減らしてハンセン氏病患者のために寄付しよう」とおにぎり運動をよびかけました。

祇園精舎の鐘の聲 諸行無常の響きあり 作者未詳

「平家物語」冒頭の一節。「婆羅双樹の花の色、盛者必衰の理(ことわり)をあらはす。奢れる人も久しからず、唯春の夜の夢のごとし…」と続きます。権力に驕り、豪華な生活をしている者も、それを長く続けることはできないと謳っています。

おにぎり一つ そまつにすれば 世界のどこかに おにぎり一つ 足りない人が かならずできる 河野 進